

決して高い方ではない。国保制度の運営は、基本的に国保税と国庫支出金等で賄うべきであると考えられる。一般会計の財源に余裕があれば繰出しも考えられるが、市民の七十五%が国保以外の被保険者であることを考えると、やはり慎重にすべきであると考ええる。

**交通安全対策について**



森永 靖子

**質問** 国道3号から市道と光園線に入り、可愛地区コミュニティセンターに向かう諏訪保育園入口付近が大変狭く、車両進入の際に離合がとても困難である。道路幅も狭く、四メートルの箇所もあり住連木自治公民館やいろいろな施設もあり、交通量も多いことから危険である。停止位置変更について市長のご所見を伺う。

**答弁** 横断歩道や停止線等の路面標示は、県公安委員会が設置するが、過去に地元からの要望があり停止線の位置を変えたということである。今回、提言のあった停止線の位置変更という方法に加え、大型車両等の通行規制も含めて協議を行いたい。なお、道路幅員が

狭いことが一番の原因であるため、



諏訪保育園入口

**サンアリーナせんだいのロビーの活用について**



杉菌 道朗

**質問** 総合運動公園内の各施設は各競技やイベントなどに幅広く利用されている。先頃、薩摩川内市・中国常熟市間のスポーツ等交流事業が行われた。小中学生によるこの事業は今回で二十三回目である。そこで、交流事業の歩みを広く知ってもらうために、アリーナのロビーなどを活用し、記録写真などのパネル展示は検討できないか。

**答弁** サンアリーナせんだいは、現在、サブアリーナの二階入口横にガラス張りの展示コーナーを設け、本市出身の木佐貫投手等のユニホーム等を展示している。また、エントランスホールの休憩コーナーには書棚を設置し、本市のスポーツ関係資料を提供している。御指摘のとおり、常熟市とのスポーツ交流の歩みを展示したり、この秋に合宿をした全日本男子、女子のバレーボールチームや千葉ロッテマリーンズ等の紹介をすることは非常に有意義と思うので、今後、安全面、景観、展示の有効活用等を考慮しながら、新たな展示コーナーの設置を検討したい。



エントランスホール(サンアリーナせんだい)

**各常任委員会  
報告**

各常任委員会は、それぞれ付託された議案の審査等を行い、主に次のような意見・要望が述べられました。

**総務文教委員会**

委員長 瀬尾 和敬

十二月十七日、十八日開催

**所管事務調査**

- ①特にAEDが設置されている施設等においては、更なる普通救命講習の実施に取り組まれない。
- ②市民の防災意識の高揚に資する設備を備えた消防庁舎を一日も早く新設できるよう、早急に取り組まれない。
- ③学校の適正規模や統廃合に係る基本方針策定に当たっては、議員も交え、十分に議論されたい。
- ④市民大学講座や公民館の自主学級等については、幅広く市民が参加できるように在り方を検討されたい。
- ⑤天辰寺前古墳については、地域